

暑さが増し、夏の訪れを感じます。あり組での生活にも一人ひとりのペースで慣れ、笑顔で過ごす時間が増えてきました。園庭では砂を掴んだり掘ったりして砂の感触を楽しみました。大学構内への散歩では、保育者の手の平に乗ったダンゴムシをそーっと指でつつき、丸まる様子にびっくりしたり、手に乗せてみたり、また、シロツメクサやあじさいにも実際に触れ、自然の恵みをたくさん感じています。室内でも興味がどんどん広がり、マットで体を動かしたり、友だち同士で「どうぞ」「ありがとう」の受け渡し遊びを保育者を介して楽しんだりしています。少しずつ友だちとの関わりが増えたことで玩具の取り合いも見られますが、友だちに興味を示す姿を大切に仲立ちをしていきたいと思ひます。

今月から湯遊びが始まります。たらいやビニールプールに湯を溜めて水の心地よさを感じたり汗をシャワーで流したりし、暑い夏も気持ちよく過ごせるようにしていきます。また、生活面では食事や睡眠など一人ひとりのペースを大切に、安心して過ごせるようにゆったりと関わっていききたいと思ひます。



おもちゃ箱からおもちゃを一つひとつ出していたAくん。出したおもちゃで遊ぶのではなく、空になったおもちゃ箱をひっくり返してトントン、太鼓のように叩いて満足そうに遊んでいました。子どもの豊かな発想を大切にしながら過ごしていきたいと思ひます。

暑さも日々増していき、本格的な夏を迎える季節となりました。6月は雨の日もあり、保育室の窓から外を指差し「あめふってきた」「あめざーざー」と教えてくれる姿が見られたり、三角マットや波型平均台を使って体を動かすことを楽しんだりして過ごしていました。そんな中、晴れた日には園庭で友だちや保育者と一緒にアリやダンゴムシを探したり、大学構内へ避難車や友だちと歩いて散歩に出かけ、あじさいを見たり、自然にたくさん触れて楽しんでいました。これからも子どもたちの気づきや発見、感じたことを身振りや簡単な言葉で伝えようとする姿を大切に関わっていききたいと思ひます。

今月から湯遊びが始まります。タライやビニールプールを使い、水に触れることを楽しみたいと思ひます。また、寒天等を使った感触を楽しむ遊びも予定しています。友だちや保育者と一緒に水や素材の感触や心地よさを感じながら、一人ひとりのペースに合わせ、暑い夏を楽しく過ごしていきたいと思ひます。



オムツ替えに行くことを嫌がっていたAくん。保育者が何度誘っても頑なに座り込んでいたのですが、Bちゃんが「Aくん、いっしょにいこう!」と優しく誘ってくれました。するとAくんは嬉しそうに立ち上がり、2人で仲良く手を繋いでトイレに行きました。小さなBちゃん先生、子ども同士の関わりで心を動かす様子も大切に見守っていききたいと思ひます。

日ごとに陽射しも強くなり、夏の訪れを感じる季節となりました。子どもたちは額に汗を滲ませながらも、元気いっぱい遊んでいます。雨の日が続くこともありますが、窓の外を眺め「きいろいかさで来たよ」「ナメクジいるかな」など、それぞれに梅雨を楽しんで過ごしている子どもたちです。園庭では、友だちや保育者と追いかけてっこをしたり、ダンゴムシをバケツにたくさん集めて見せ合ったりと、好きな遊びを存分に楽しんでいます。また、友だちと関わる中で、「あとで貸してね」「一緒にしよう」など気持ちを言葉で伝えようとする姿も少しずつ見られています。その思いを大切に見守り、言葉で伝える喜びや楽しさを感じられるように関わっていききたいと思ひます。

今月からプール遊び、泥んこ遊びが始まります。また、寒天を使った感触を楽しむ遊びや絵の具を使ったフィンガーペインティングなども予定しています。水や様々な素材に触れる中で、心地良さやおもしろさを感じたり発見したりし、暑い夏を子どもたちと一緒に楽しく過ごしていきたいと思ひます。



ある日大学の森に散歩へ行くと、アリが次々と入っていく小さな穴を発見しました。「アリさんのおうちだ!」と頭を寄せ合って観察する子どもたち。地面にいる他のアリたちにも「おうち、こっちだよ〜」と声をかけながら一生懸命案内していました。土の下にどんなお家が広がっているのか、わくわくする姿に心があたたかくなりました。これからも自然と触れ合いながら、一つひとつの発見を大切にしていきたいと思ひます。